【授業科目】基礎セミナーⅠ（基礎）　Basic Seminar Ⅰ

担　当　教　員	開講年次	選択必修	単位数	時間数	授業形態	実務経験	オフィスアワー	教職員への授業公開
大西 信行、大久保 仁司、増田 由美 北井 真紀子、髙塚 麻由、松田 陽子 岡村 勇飛、佐藤 優子、中村 いお美	１年次 前　期	必修	1	３０	演　習	あり	巻末 掲載	可

授業概要 （内容と進め方） 及び課題に対する ﾌｨｰﾄﾞﾊﾞｯｸ方法	授業概要／大学で学ぶために必要な「聴く」「読む」「書く」「調べる」「整理する」「まとめる」「表現する」「伝える」「考える」の９つの力を個人ワークやグループワークを通して学習する。学生が主体的に授業に参加し、教員とともに基礎セミナーⅠを展開する。 課題に対するフィードバック方法／提出されたレポートにコメントをつけて返却する。提出された課題について全体の総評コメントを資料にて公開する。
実務経験に関する 授業内容	医療について研究をしている教員および看護職を育成する教員が、今後医療職となっていくための問題意識や考えるためのスキルを指導する。
授業の 位置づけ	本学のディプロマ・ポリシー⑤「将来に向け看護を主体的に学び、人間として自己の成長に努め、専門職としてのキャリアの基礎を形成することができる。」の達成に寄与している。
到達目標 （履修者が到達 すべき目標）	①大学での学習活動の特徴と学び方がわかる。 ②自分の関心のあるテーマを見つけ、関連ある文献等の情報収集ができる。 ③収集した文献等を読み、要約を作成することができる。 ④自分の感じたこと、考えたことを表現することができる。 ⑤グループで一つのテーマを決定し、資料収集、討議を通して、論理的に展開し、まとめた結果をプレゼンテーションできる。
時間外学習に必要な 内容・時間	【事前学習】 第1～15回：指定の教科書を事前に必ず読んでおく。（各30分） 【事後学習】 各回での学びを復習することで確認し、疑問点は調べたのちに教員に質問する。（各30分） 全講義終了後、本講義での学びを活かし、テーマを見つけてレポートを作成する（60分） ※上記時間については、指定された学習課題に要する標準的な時間を記載してあります。日々の自学自習全体としては、各授業に応じた時間（２単位１５回科目の場合：予習+復習４時間／1回）（１単位１５回科目の場合：予習+復習1時間／１回）（１単位８回科目の場合：予習+復習４時間／１回）を取るよう努めてください。詳しくは教員の指導に従ってください。
授業計画	1.オリエンテーション、スタディ・スキルズとは 本講義の進め方の説明、大学で学ぶとは？ タイムマネジメント、何をどう学ぶか 2.「聴く」「読む」 大学での講義におけるノート・テイキング 3.「聴く・読む」リーディングスキルの基本 4.「聴く」「読む」 より深いリーディングのために 5.「調べる」「整理する」大学図書館における情報収集、インターネットによる情報収集 ＊コンピューター演習室で、１人１台のパソコンを利用する ＊各自、パソコンにログインするための「ID、パスワード」を持参すること 6. 「調べる」「整理する」情報の整理 ※　第５回目、６回目は、クラスにより授業が入れ替わる（後日説明） 7.「まとめる」「書く」アカデミック・ライティングの基本スキル 8.「まとめる」「書く」効果的なアカデミック・ライティングのために 9.「まとめる」「書く」効果的なアカデミック・ライティングのために 10.「まとめる」「書く」効果的なアカデミック・ライティングのために 11.「表現する」「伝える」プレゼンテーションの基本のスキル、わかりやすいプレゼンテーション 12～14.「表現する」「伝える」グループワークのグループ編成、テーマ決定 15.「表現する」「伝える」グループワーク発表、まとめ 1回　大西 2～15回 担当教員が、 それぞれクラス毎に 担当
評価方法 評価基準	レポート60%、プレゼンテーション・グループワーク40% で総合的に評価する。
教科書	学習技術研究会『知へのステップ－大学生からのスタディ・スキルズ－第５版』くろしお出版　／　参考書等：適宜紹介します。
学生への 助言等	大学で学んでいくためには、「聴く」「読む」「書く」「調べる」「整理する」「まとめる」「表現する」「伝える」「考える」の9つの力はとても重要な力です。また、これらの力は大学卒業後も継続して学習するために重要な力ともいえます。その第一歩として、積極的に、主体的にこのセミナーに参加してください。図書館に多くの文献がありますので、十分に活用し学びを深めてください。